

# Topics

## 1. 本社工場の受電設備を更新しました。

本社工場では昨年末、電気炉メーカーにとって最も重要な設備の一つとなる特別高圧電力の受電設備を更新しました。

中心となる70t電気炉に電気を供給する変圧器は、メンテナンスが容易な最新型の設備で、十分なスペースを持つ収納建屋も合わせて建設しました。

また、一般動力用の変圧器もこれまでのオープンタイプから、充電部が密閉されたガス絶縁開閉装置（GIS）付のコンパクトな設備となり、故障リスクの大幅な減少が期待されます。いずれも老朽化に伴う更新ですが、これにより安定生産に向けて万全の生産体制が一段と整備されました。



70t電気炉受電用変圧器収納建屋



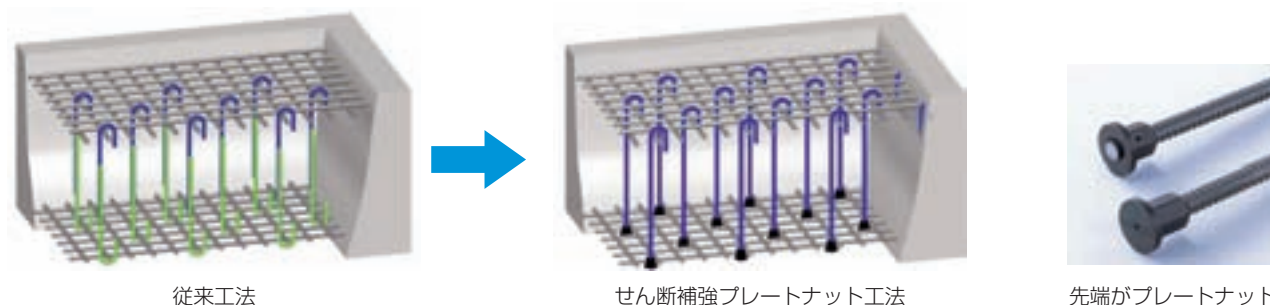
一般電力用変圧器ガス絶縁開閉装置



70t電気炉受電用変圧器

## 2. せん断補強プレートナットの新工法を開発しました。

柱・梁主筋の端部に定着金物を用いるプレートナット工法は、主筋を折り曲げフック加工する従来の工法に比べ複雑な配筋がなく、施工法に優れていることから、好評をいただいています。今般、この特徴を生かして耐圧盤、スラブ、壁など面部材のせん断補強筋の定着に適用する新しいプレートナット工法を開発しました。今後、超高層建築の基礎部分などで使用が期待されます。



## 3. 「スマートベース工法」の適用範囲が拡大されました。

スマートベース工法は鉄骨造の柱と建物の基礎を接合する露出型柱脚工法として開発され、当社の高強度ネジテツコンやプレートナットを組み合わせることでシンプルな構造となり、施工性を大幅に改善することができる工法です。従来は柱種類が角型鋼管に限定されていましたが、この度適用範囲を拡大し丸型鋼管やH型鋼への使用が可能となりました。これにより対象建物が広がり一層の販売量拡大が望めます。

